

たくさんの笑顔のために ～安心・安全の徹底～



株式会社 スポーツ だいたう

スポーツだいたうの提供する商品の大半は耐久性に優れており、設置後もアフターケアを徹底し、その甲斐あって大半のお客様がリピーターになり、口コミで会社の信頼は高まっています。

公園遊具の設置、体育用具の設計から溶接や塗装まで自社で行っている他、スポーツ用具の素材も鉄アルミ、ステンレスなど幅広く対応しています。

近年、スポーツ用ネットは、主力製品にまで成長しました。設置場所の現地調査に始まり、加工、塗装、設置の全工程をすべて自社で行っています。ほとんどが現地に合わせた独自の加工を施しています。

この業界を盛り上げたい

「先代から続く取引先と良い関係を築きながら仕事させていたいただき、非常にありがたいと思っています。お客様ニーズを的確に把握し、常に新しいサービス、技術を探求し、業界全体を良くしていきたい。」と、自社の商品に自信と誇りを持ち、安全、安心なサービスの提供、適切な価格の提供を心掛けています。

スポーツだいたうは「遊びやスポーツを通じて青少年の体力向上や健全育成に貢献する」「安心、安全を提供し、すべてのユーザーに喜んでもらう」を経営理念に掲げています。「遊具を設置し、子供に笑顔で遊んでもらうのはもちろん、保護者や用具を設置した学校の先生などに安心してもらえることがこの仕事の一番のやりがいです。」

先々代の機械加工業から始まり、時代の変化に対応しながら、積み重ねてきた技術、経験を活かし、様々な体育用具、公園遊具の安全面を大事にしてきました。

「これからの時代のニーズに対応して、たくさんの人に喜んでほしい。」と馬場社長は話してくれました。

公園にある様々な遊具、学校の体育用具、防球ネットは、スポーツだいたうの技術、安全なサービスを提供したいという気持ちが込められています。

株式会社スポーツだいたうは、公園のブランコ、サッカーゴール、野球のバット、テイクゲージやネットを取り扱う道内でも数少ない、体育用具や公園遊具の製作、取付け、メンテナンスを行っている会社です。

初代社長の馬場健治氏は昭和20年、鉄鋼会社に勤めた後、鉄鋼で培った技術を活かし、昭和22年に市内で炭鉱業機械の加工、修理を中心とした事業を始めました。

しかし、昭和30年代後半に世界のエネルギー情勢が石炭から石油へと変わったことから、道内の炭鉱業は衰退、健治氏は当時取り扱う会社が少なかった、学校向け体育用具の製作や公園向け遊具を取り扱う業種に転換し、昭和33年大東製機を設立しました。昭和46年には現在の名称「スポーツだいたう」に社名を変更し、3代にわたり70年以上事業を続けています。

3代目の現社長、馬場琢磨氏は、父親である2代目の孝治氏の仕事を継ぎたいと思いつき、幼い頃から会社を手伝い始め、平成31年社長に就任しました。



3代目社長 馬場琢磨氏

新たな強みを作る

馬場社長はこれまでの事業を維持しながら、新たな強みを創ることに取り組み、祖父、父親から引き継いだ会社の技術や経験、得意分野から、時代のニーズにあった商品が必要とを考えています。

平成14年「遊具の安全に関する規程」が設けられ、認定資格である「公園施設点検管理士」を取得しました。当時、遊具の事故が多発していたため、これにより遊具設置に明確な規程が設けられました。

安全、安心な遊具の設置こそ自社が培ってきた技術であり、お客様との大きな信頼につながると考えています。



野球の屋内練習場ネット、全てがオーダーメイド



冬期でも屋外で使える寒冷地対応野球ネット



ボルタリングの耐久試験



設置場所に合わせ、加工を施しています

株式会社スポーツだいたう
小樽市奥沢3丁目29-13
TEL 34-0200
FAX 34-0201
定休日 日曜・祝日

